

宛)お客様各位

トリムトリオコンタクトサイズ 16 用
引き抜き工具 販売終了と 代替引き抜き工具のご案内

拝啓、

貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、弊社トリムトリオコンタクトサイズ 16 用に使用する引き抜き工具について、現在販売を行っている 3 型番について、販売終了の連絡をさせていただきます。

また代替となります引き抜き工具(RX20-31J)についても併せて連絡をさせていただきます。

何卒ご理解の上、ご了承の程宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 販売終了型番について

RX20-25V2J	RX20-25JG1	RX2025GE1
		

2. 販売終了時期

・2018 年 3 月 31 日をもって販売を終了させていただきます。

尚、受注については、2018 年 2 月 28 日当日締め切りとさせていただきます。

3. 代替型番について



概略仕様等は添付別紙(IJM-RX2031J 01)を参照願います。
詳細につきましては、別途お問い合わせをお願い致します。

4. 問合せ先

問合せ URL service_jpn@souriau.com

本社営業部/カスタマーサービス部: 〒210-000 川崎市川崎区東田町 8 番地 パール三井ビルディング 15F

TEL:044-210-1147 FAX:044-210-1148

大阪営業所: 〒532-0003 大阪市淀川区宮原 4-1-45 新大阪八千代ビル 10F

TEL:06-6398-5182 FAX:06-6393-439

以上

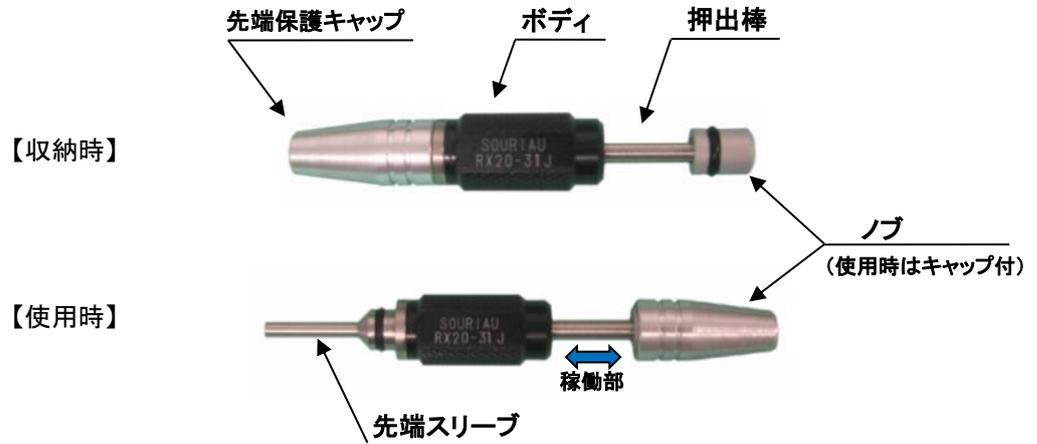
This document is not export controlled
technical data or technology

コンタクト引抜工具(RX20-31J)

【取扱説明書】

本書は、弊社製切削コンタクトのRC/RSC/RMシリーズ、およびプレスコンタクトのSC/SMシリーズに使用する引抜工具(RX20-31J)の取扱いについて説明するものです。

1. RX20-31Jの外観と各部名称



2. 作業前点検

コンタクト引抜作業をする前に、引抜工具の確認を下記の内容で実施すること。引抜工具に問題が無い事を確認してからコンタクト引抜作業をすること。

① 工具先端の状態確認。

矢視の方向からみてスリーブの先端が変形していない事を確認する。



② 可動部の確認。

ボディを握り、赤の矢印の方向にノブを押す。ノブとボディの隙間が2.5~3.5mmの範囲になるまで押し込むことが出来るか確認する。

また、青い矢印の方向にバネの力でスムーズに戻ることを確認する。

動かないもの、またはスムーズに動かない物は **NG** とする。



③ 外観確認。

先端や押出棒が曲がっていない事を確認する。

各ネジ部が簡単に緩まない事を確認する。

ボディなどに著しい傷や割れなどが無い事を確認する。

曲がり、ヒビ割れ、傷、ネジ部の緩みがいずれかがあるものは **NG** とする。



※①~③の項目で1つでも **NG** がある場合、その引抜工具は使用しないこと。

3. RX20-31J の取扱い手順

3-1. 引抜工具の持ち方

引抜作業時の引抜工具の持ち方を以下で説明します。

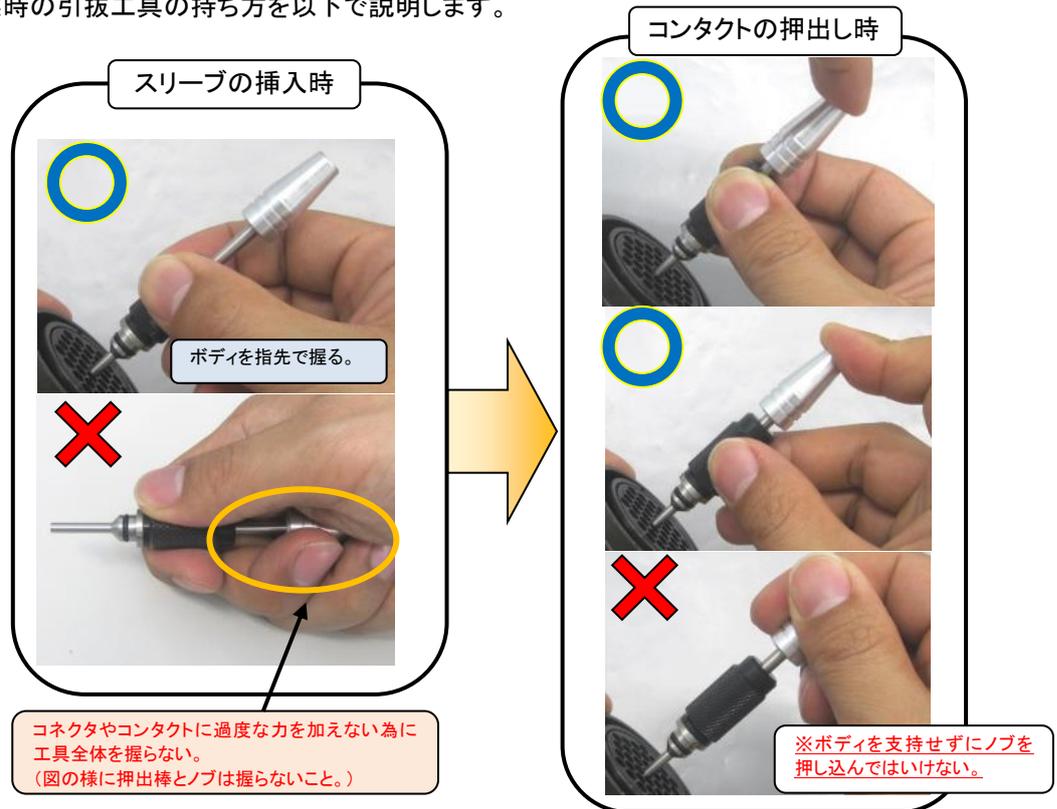


図 1. RX20-31J の握り方

3-2. コンタクト引抜作業の手順

3-2-1. コネクタのインシュレータタイプ

弊社製コネクタは、嵌合面側から見ると、通常樹脂製のインシュレータ(絶縁体)が見えます。しかし、一部のコネクタ(VGE1 コネクタのピンコンタクト側に限る)では嵌合面側にシリコン製のインターフェイスシール(緑色)が組み付けられているものがあります。(図 2 参照)

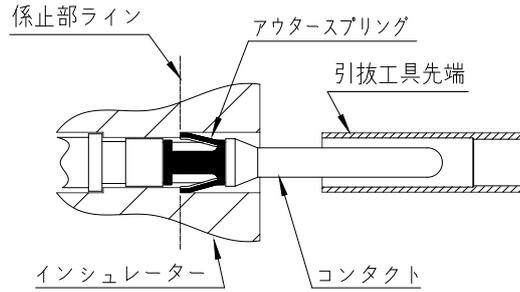


図 2. コネクタの嵌合面の例

インターフェイスシールのある場合と無い場合では、作業の注意点に違いがあるため、タイプ別に分けて詳細な作業手順を説明します。

- ◆ インターフェイスシールの無い嵌合面 => 3-2-2 項へ
- ◆ インターフェイスシールのある嵌合面 => 3-2-3 項へ

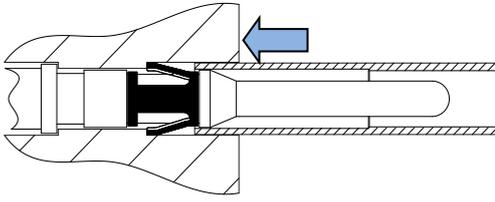
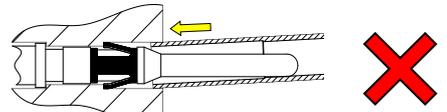
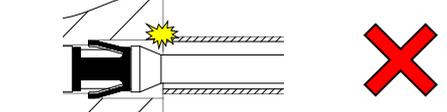
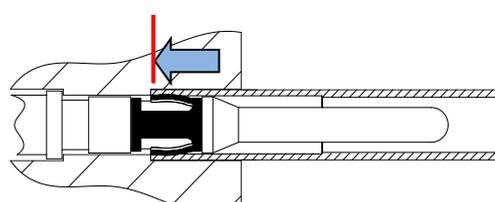
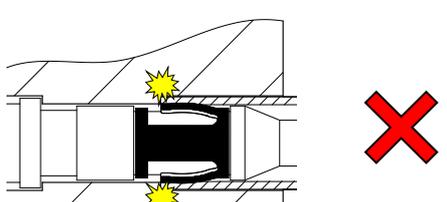
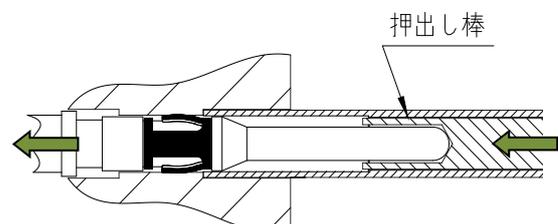
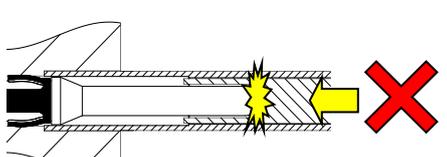
3-2-2. インターフェイスシールの無いインシュレータでのコンタクト引抜作業
 下図及び下表を参照して、引抜作業を実施してください。



※係止部とはコンタクトが固定される位置のこと

図 3. コンタクト引抜作業時の各部名称

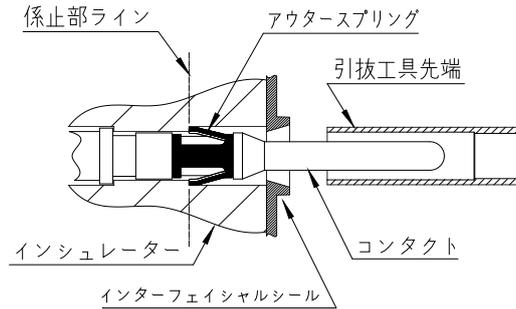
表 1. インターフェイスシールの無いインシュレータでのコンタクトの引抜作業

No.	手 順	注意事項
①	 <p>コンタクトホールに先端スリーブを挿入する。 この時、工具は嵌合面に対して垂直に持つこと。</p>	 <p>コンタクトホールにスリーブを斜めに入れない。</p>  <p>コンタクトホール入口にスリーブをぶつけない。</p>
②	 <p>係止部に工具先端を軽く当てる。 この時アウター Springs の羽が閉じた状態になる。</p>	 <p>過度の衝撃、負荷を係止部に与えない。</p>
③	 <p>ゆっくりノブを押し、コンタクトを押し出す。</p>	 <p>コンタクトに過度の衝撃を与えるようなノブの操作はしない。 <u>※極度に押し出しが固い場合は、一度作業を中断しコンタクトの状態を確認し、①からやり直すこと。</u></p>

※ 注意事項を守らずに作業を行った場合、コネクタまたはコンタクトの破損に繋がります。

3-2-3. インターフェイスシールのあるインシュレータでのコンタクトの引抜作業

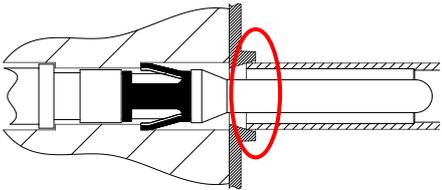
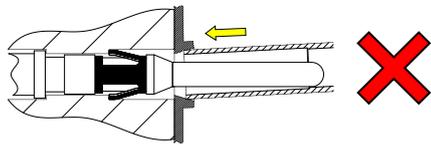
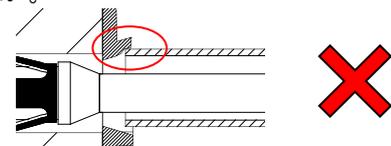
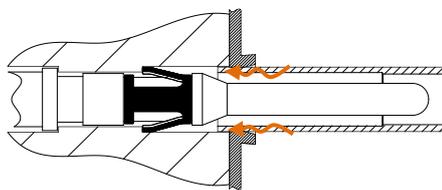
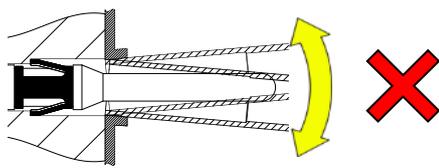
インターフェイスシールのホール寸法は、コンタクトホールの内径より小さく出来ています。工具挿入時には、インターフェイスシールを少し押し広げる様に作業をする必要があります。下図及び下表を参照して、引抜作業を実施してください。



※係止部とはコンタクトが固定される位置のこと

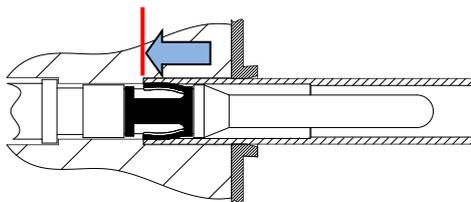
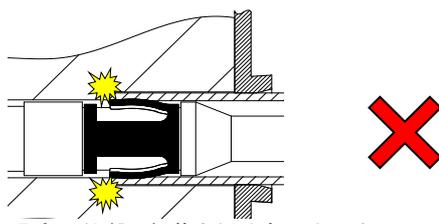
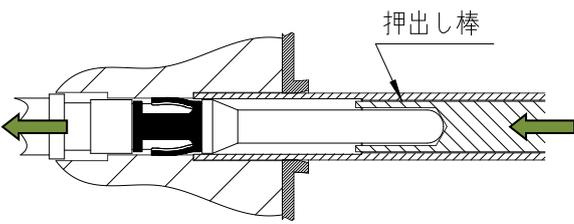
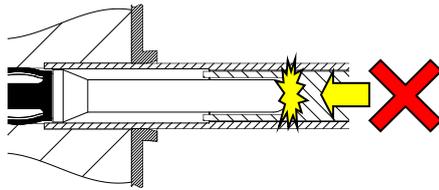
図 4. コンタクト引抜作業時の各部名称

表 2. インターフェイスシールがあるインシュレータでのコンタクトの引抜作業

No.	手順	注意事項
①	 <p>インターフェイスシールに先端スリーブを軽く当てる。この時、工具は嵌合面に対して垂直に持つこと。</p>	 <p>インターフェイスシールにスリーブを斜めに当てない。</p>  <p>インターフェイスシールのホールに対し、著しくセンターを外した位置に工具先端を当てないこと。ホールセンターを外して力を加えるとシールそのものが破損します。</p>
②	 <p>インターフェイスシールを押し広げながら工具の先端をコンタクトホールへ入れる。この時スリーブを少し回転させると挿入しやすい。</p>	 <p>スリーブを過剰に上下左右に振らないこと。コンタクトの変形やインシュレータが破損します。</p> <p>※工具先端がスムーズにコンタクトホールに入らない場合は、引抜工具の先端にアルコールを塗布(次頁図 6 参照)して作業してください。(アルコールが乾かないうちに作業をすること。)</p>



次頁に続く

No.	手 順	注 意 事 項
③	 <p>係止部に工具先端を軽く当てる。 この時アウター Springs の羽が閉じた状態になる。</p>	 <p>過度の衝撃、負荷を係止部に与えない。</p>
④	 <p>押し棒</p> <p>ゆっくりとノブを押し、コンタクトを押し出す。</p>	 <p>コンタクトに過度の衝撃を与えるようなノブの操作はしない。 ※極度に押し出しが固い場合は、一度作業を中断しコンタクトの状態を確認し、①からやり直すこと。</p>

※ 注意事項を守らずに作業を行った場合、コネクタまたはコンタクトの破損に繋がります。



図 5. アルコールの塗布方法

4. 引抜工具使用後の保管方法

コンタクト引抜作業が完了した後の、引抜工具の取扱い及び保管方法は下記の通りです。

a. "作業前の確認事項"と同様の確認を実施する。

- ・工具先端の状態確認。
- ・可動部の確認。
- ・外観確認。

もし一つの項目でもNGが確認された時は作業を行ったコネクタ及びコンタクトに異常がないか検査を実施する。

また引抜工具については以後使用不可とすること。

b. 上記 a の確認で引抜工具に問題が無ければ先端にキャップをして保管する。

保管方法は1項の図1の【収納時】を参照してください。

— 以 上 —